

公約通り

12月議会報告 後期高齢者医療制度は直ちに廃止を！

日本共産党

こんにちは 市会議員 南畑さち代です

2009・12・28 連絡先 453-7758

12月2日、一般質問に立ちました。新政権となったが、高齢者の方々が期待した後期高齢者医療制度の廃止が先送りされます。この政府の態度についての認識と負担増に耐えられないとの怒りの声や実態、資格証明書の認識や70歳から74歳の窓口負担の「凍結解除」に対する見通しについて質問。また、今回はじめてヒフククチンの問題について取り上げました。ゴミの問題では昨年9月議会以降減量施策の進捗状況を質問しました。

後期高齢者医療制度について

市長 「制度の存続は基本的にはやむをえない十分な準備・検証・周知の期間不可欠。高齢者に十分配慮した制度の改善策を市長会通じて国に要望していく」「保険料の上昇は13・8%の見込み」「来年度の被保険者数は約4万5千人しかし、広域連合に係る剰余金の全額を活用することに加え、財政安定化基金の取り崩しにより対応するよう厚労省から通知が寄せられている



日本共産党 和歌山市会議員 南畑 さち代

る」資格証明書については「厚労省通知では十分な収入があるにもかかわらず保険料を納付しない悪質な場合のみ交付。交付しても必要な医療を受ける機会が奪われないと認められる時に限って交付対象者となっており、原則的に交付されないものになっている」

前期(70歳〜74歳) 高齢者の医療について

市長 「70歳から74歳の医療費の窓口負担が2割となる可能性のある方は、1万7千人。『凍結解除』により被保険者の自己負担は年間約5億5千万円増と見込まれる。市として国の動向などを踏まえ情報収集に努めるとともに、自己負担が増加しないように、必要に応じて国に要望していく」

ヒフククチンの接種について

質問 「乳幼児がb型肝炎ウイルスエンザ菌による細菌性髄膜炎に罹患する(年間約600人)と死亡(5%)あるいは重症となる。また後遺症(20%)が残るといわれています。主に0歳から5歳までのことも発症するが、ヒフククチンが有効とされ世界では120カ国が定期接種

こんにちは！ 奥村のり子です

12月定例県議会が終わりました。

今回は特に高校生の新規卒業生の雇用対策の強化を求めました。和歌山労働局の10月末時点の状況調査では高校生の求職者1756人に対し求人数は1167人です。就職内定率は55・6%で昨年同時期に比べ11・3ポイントも下がっています。



和歌山県議会議員 奥村 のり子

今年の春の高校生卒業生は216人が就職できませんでした。来春はそれより厳しい状況が予想されます。就職を希望する高校生が就職できないまま卒業していかねばならない、卒業と同時に失業という事態は日本社会、和歌山県の未来に係る重要な課題です。社会に一歩踏み出すこととするすべての子どもに就職保障をするために来るべき参議院選挙での日本共産党の躍進で若者が夢と希望のもてる社会にかえなければと痛切に感じた議会でした。

となつている。しかし、日本では任意の接種となっており1回市独自に補助することを考えて7千円もかかる。おおむね5歳までに4回の接種が必要で3万円負担は大きい。全国では全額補助や一部補助を決めた自治体がある。

市として国に定期接種を求め調査しつつ検討していく」

環境問題について

質問 昨年9月議会で、ごみ減量や堆肥化、水切りについて提案しました。その後市の独自策や改善策の進捗状況や他都市への調査・研究の結果はどうなっているのか。

組むが必要。視察に行った町田市では『ごみゼロ市民会議』を呼びかけ定数の倍以上の応募が巻き込んだ取り組を展開。その中で、集合住宅の実験モデル棟を募集。共同で生ごみを堆肥化していること紹介しました。



答弁 「出前講座やパンフレットなどを通じて市民に呼びかけている。生ごみ処理機の補助基数を50基から150基に増やした。また、アンケートを実施し248人から回答を得、66%の方が堆肥として使用と回答。減量効果が高まっている」

「学校給食は直営で、民間委託は白紙撤回を」

質問 市は行革の一環として学校給食へも民間委託を広げ、9月議会で「来年度も新たに3校

を」と提案、可決されています。ではなく、関係者のチームワークこそが大切だと思います。民間委託業者へ光熱費などが無償提供されている実態は適切な請負契約といえるのか。給食は栄養士、調理員、教員のチームワークで取り組むことこそが安全安心の給食を保障することになる。調理業務を切り離して一貫性が保たれるのか」

答弁 「一部、適切でないと思料される所があった。関係機関と協議し、法令遵守する内容としていく。民間委託は業務上、直接個々の調理員に指示できないという課題は残る」

「参院選勝利へ」私の決意

吉田まさや



党県常任委員・国政対策委員長
吉田まさや氏

先の総選挙で自民・公明政権退場の審判にかけた国民の思いは、「政治を変えたい」というものでした。その思いにこたえるために、参議院選挙で勝利する決意です。

ふたつのことにとりくみたいと思います。

ひとつは、人間が大切にされる政治に変えることです。わたしは、青年の雇用の実態をつかむアンケート活動などをつうじて、不安定、低賃金、長時間労働などで働きがいがないがもてない青年の姿を目の当たりにしてきました。この実態を変えたいと思います。

ふたつ目は、子育てを応援することです。私には2歳と3ヶ月の子ともがいます。子育て中の知人の話をきくと、仕事と子育ての両立がすごく難しくなっていると痛感します。長時間労働の規制、保育所増設など、総合的に子育てを支援する政治をつくるために全力を尽くします。

「やさしい手」メンバー・C える喜び、41年間忘れていた感動でした。今の世の中、若者に、自営業者に全く仕事がなく食べていけない時代、また、仕事があっても働いても生活出来ない状態の人達。やはり政治の歪み、国民中心の政治ではなかったからでしょう。政権が交代しました。国民一人一人が人間らしく生きるこ

投稿 日々の糧 喜び

41年振りにお給金を頂きました。自営業の主人の下、事務、住込みの見習いさんの食事時には現場助手として結婚以来ずっと多忙な毎日でした。給料等もなく、内助の功を發揮できればとの思いで暮らしてきた日々でした。

少し他の分野で働けたらとの思いでいました。幸い新聞の集金の仕事を頂き、実働は1ヶ月1週間位でストレスの発散になり、その上お給金を頂けるなんて楽しい限りです。自分のした事を評価してもら

とが出来る日々の糧を保障され、生きている喜びを分かち合える世の中にして下さいませよう願っています。

無料生活法律相談

日時：1月 6日(水)
1月20日(水)
午後6時～7時

会場：河西診療所組合員ホール

申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
午後 6時半～8時

(緊急の場合はお電話で。夜の部は予約してください)

会場：南畑幸代生活相談所

TEL 453-3418 または 453-7758
和歌山市善明寺411-4

お問い合わせは南畑幸代まで
453-7758 (自宅) または
435-1113 (日本共産党市議団直通)